

神奈川県立湘南支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和6年度 第2回湘南支援学校運営協議会		
開催日時	令和6年10月16日(水) 13:00~15:30		
開催場所	湘南支援学校 視聴覚室		
出欠席者	学校運営協議会委員出席9名、事務局(本校職員:出席9名、欠席1名)		
次回開催予定	令和7年2月21日(金) 15:00~		
問合せ先	神奈川県立湘南支援学校 副校長 比留川 はるか 電話:0463-34-7244 FAX:0463-34-8707		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・回議経過	<p>○学校内見学 13:10~13:35</p> <p>会長 ○開会 会長挨拶、学校長挨拶、事務局より資料確認</p> <p>事務局 ○第1回切れ目ない支援部会報告(支援連携 GL より)</p> <p>事務局 ○第1回防災安全部会報告(管理運営 GL より)</p> <p>事務局 ・災害時の職員の出勤に関して、自身が被災してしまった職員がどこまで動けるかの問題が、先日の大雨(8/30)で浮き彫りになった。</p> <p>委員1 ・災害の多い年で、児童生徒は不安だったと思うがいかかか。</p> <p>事務局 ・急な場面変化には苦手な子どもが多く、訓練を通して臨機応変な対応に取り組んでいる。また、災害を報道するニュースを見て不安になる高等部の生徒もいた。</p> <p>委員2 ・床下浸水被害の生徒から、とても大変だった。また床下浸水は補助金が出なかったと聞いている。</p> <p>委員2 ・東日本大震災では混乱した社員もいた。単独で構内の施設を移動して清掃する業務のため実際に災害が起きた際は不安だ。ヘルプマークを持たせている事業所もあり検討した。また今後、切れ目ない支援部会にも参加したい。相模原地区はインクルーシブ校や支援学校の先生を含めた会議があると聞いたが、この地域はあるのか。(地域的な会議であるとのこと)</p> <p>委員3 ・災害の時だけでなくカードを使って生徒支援を行っている聞いた。具体的に何を使っているのか?</p> <p>事務局 ・本校でよく使っているのは「ください」カードや具体物と合わせて「○○ください」と活用し、進路先でも使えるように情報提供している。ヘルプカードについては入学者説明会などで案内している。</p> <p>委員4 ・平塚市には避難行動要支援者登録制度がある。高齢者や不安な方が登録、災害時に確認に行く。</p> <p>委員5 ・民生委員と自治会長のところに要支援の情報がある。いざという時に自治会がその方のところへ回ることができる。災害時、中学校に生徒がいる時はどう運営するのかを考えないといけないと思う。自治会では冠水が起きた場合、車がそちらへ行かないよう道案内をしている。この業務を自治会がやっていることは問題があるのではないかと思う。</p> <p>委員6 ・8/30 は、膝上まで冠水した中で対応した。急激に水が上がった時の対応が難しい。地震だけでなく雨でもしっかり考えねばと思う。スクールバスが冠水で止まるなど想定をしていることはあるのか。</p> <p>事務局 ・2つ以上の警報がでること、渋田川の水位情報が臨時休校の判断の一つになっている。</p> <p>委員7 ・10年スパンで水害がある。2014年も今回と同様だった。今回も何とか大丈夫だった。短時間の大雨で危険な状況となるのが昔と違う。学校に避難して過ごすこともあるのではと思った。</p> <p>会長 ・湘南支援学校は福祉避難所になっている。</p> <p>事務局 ・毎年、夏季休業中に教員対象に避難所設営の訓練をしている。</p> <p>事務局 【③一人一台端末の説明】</p> <p>事務局 ・GIGA スクール構想のひとつとして、一人一台端末の取り組みが始まった。</p> <p>一人一台端末の良い点は、ネット検索がいつでも簡単にできること。端末には Classroom というアプリケーションがあり、各グループが同じ課題を皆でやりたい時、同時にアクセスして課題に取り組める。</p>		

	<p>感想などをそこから提出することもできる。生徒は機器の使い方に慣れていて思いの外混乱はない。Googlemeet(テレビ電話システム)を先日の実習激励会で使用した。多くの生徒が集まる場所へ行くことができなかった生徒も別室から参加できた。今までは、機器を予約し取りに行き、と時間も手間もかかったが、すぐできるようになった。またアイデアを出して使っていきたい。</p> <p>【④前期の学校の様子紹介】※本校HPの各学部の様子参照</p> <p>【⑤湘南支援ブランドの説明】※本校HPに資料掲載</p> <p>【⑥令和6年度学校評価(中間評価)】</p> <p>【協議】 ※主に③一人一台端末及び⑤湘南支援ブランドに絞って協議した。</p>
委員1	<p>・一人一台端末の話聞き、これからの時代は学習面、余暇、生活面でデジタル機器を使用し、障害のある生徒も生活していくと思う。オリヒメロボットの活用なども話題である。デジタルの波にのまれて、使えることが大事になっていく。デジタル機器には、ネガティブな面もある。家でYouTube等を市長する生徒の保護者は、学校は人との関わりや触れ合いを・・と思うかもしれない。デジタルインクルージョンという言葉もある。具体的に使いこなせること、いいところ悪いところも知り、やっていけるといい。</p>
委員2	<p>・一人一台端末、とうとうここまで来たかと思う。企業では清掃業務はこれ以上増やせない。他の仕事もやっていかないといけないのかなと思う。これがきっかけになるといいが。また、県教委の清掃技能検定に今回から参加し、先日見学に行った。気になったのは、「総合種目」はインクルーシブ校の生徒だけで支援学校からは単一種目だけだった。支援学校には清掃班があるのに・・なぜだろうか。</p>
事務局	<p>・「総合種目」はタオル・モップ・ダスタークロスの3種目。本校は毎年作業班が変わるので、1年間で3種目と流れを覚えるのは難しいため取り組んでいない。働く力として身につけたいとは思っているが。</p>
委員6	<p>・中学校の授業でも端末利用が増えている。デジタル教科書も利用しやすい。不登校の生徒が望めば授業をオンラインで見ることができる。家庭によりスマートフォンを持たせないなど、対応に苦慮している。慣れてくると破損の問題などが増えている。支援学級では子どもの苦手をカバーする使い方を工夫するといいいのではないかと助言している。ツールとしての端末を目的達成のために使えるとよい。</p>
委員4	<p>・「くれよん」で未就学の子どもに接していると、保護者は意思疎通が難しいと言われることがある。その補助に使えるといい。未就学児の保護者にこういった特別支援学校の取り組みを伝えたい。</p>
委員3	<p>・とても活発で感心した。公民館は遅れているなどと思う。ボランティア応募の仕組みについて、どのような方が応募してくるのか。</p>
事務局	<p>・特別支援教育に興味のある学生が応募している。教育実習生にも声を掛けている。また、地域の方も応募して登録している。</p>
委員7	<p>・新川端自治会の回覧板で湘南支援学校の学校公開の情報チラシが入っていたが、すでに申込期限切れだった。回覧版は時間がかかり、限界があるのではないかと。また、中原中学校の保護者としての要望の一つ。福祉委員の生徒が交流のことを発表するそうだが、聞いている生徒は退屈そうだとのことである。どうしたら興味を示してくれるか工夫してみるのはいかがでしょうか。実際関わってみてどうだったか、想像したことと違ったなどを具体的に伝えるといいいのではないかと。</p>
委員6	<p>・中学校の担当者に伝えるようにしたい。改めて貴重なご意見いただき大変ありがたい。</p>
事務局	<p>・「学校公開」の情報は、かなり前に出したが・・。電話申し込みでは煩雑になるため、QRコードを使うシステムにしている。</p>
委員5	<p>・時期によって回覧する物が多い。バラバラと頻繁に回覧すると、またかと苦情がでる。まとめて回すと時間がかかる。</p>
校長	<p>・貴重なご意見ありがとうございました。防災についての意見交換が有効的であった。これからも、いろいろな情報を教えていただければと思う。</p>
会長	<p>・以上で本日の協議会は終了したい。</p>
事務局	<p>○事務連絡・第3回協議会開催日時の確認</p> <p>・2月21日(金)午後を予定。今日は学校見学のために13時から開始とした。次回は、授業時間後の15時などの時間を調整させていただきたい。記録とともに正式に連絡させていただき予定である。</p>